

これまでに食道癌の治療を受けた患者さんへ 【過去の診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院食道胃外科では「食道癌取扱い規約改訂に関する多施設共同観察研究」という研究を行っております。

この研究は、日本食道学会により食道癌に対する新しいステージを決める際の元データとして使用することを目的としています。

そのため、過去に食道癌の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

○この研究の対象となる患者さんは、食道癌の方で、西暦 2000 年 1 月 1 日から西暦 2019 年 12 月 31 日の間に当院食道胃外科で食道癌治療（手術）を受けた方です。

- 利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、手術日、術前治療内容、術前検査所見（内視鏡検査所見、CT 検査所見、PETCT 検査所見、超音波検査所見、MRI 検査所見、上部消化管造影検査所見）、術式、病理学的検査所見、術後転移再発の有無、生存死亡について

○この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- 研究実施期間

倫理委員会承認日 ～ 西暦 2025 年 1 月 31 日まで

- 研究責任者 峯 真司

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で、本研究の事務局である大阪大学消化器外科または個々の解析を行う協力研究施設に電子媒体またはメールにて送り、解析を行います。

また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、当院食道胃外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。

研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はなく、順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査を受けております。

なお、この研究の結果が特許権等の知的財産を生み出す場合は、患者さんに帰属することはありません。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院

食道胃外科

電話：03-3813-3111（内線）3333

研究担当者：峯 真司